

第九たいむず



No. 15 2009. 9. 17

● 10/15は練習会場が変更されます

● 10/29の練習はありますよ♪

通刊857 担当 M

ホームページ: www.takasaki9.com メールアドレス: takasaki9@myad.jp

〒370-0046 高崎市江木町483 TEL/FAX: 027-323-0233(団長渡辺) 携帯電話: 080-5474-2673(事務局長 中村)

◆10月15日の練習会場は城東公民館に変更になります！

10月15日(木)、教会が使用できないため、城東公民館に練習会場が変更になります。駐車場が少ないため、乗り合わせか、最寄の有料駐車場に停めていただきますようお願いいたします。

住所: 高崎市東町172-11 電話: 027-322-6195 (詳細地図は後日掲載いたします。)

◆軽井沢合宿へ行こう！！申込受付中 団員の声と気持ちを合わせる練習です。

日時: 11月14日(土)13:30~15日(日)16:00まで 濃密な練習スケジュールです。

場所: 武蔵野音楽大学 軽井沢研修所(申込用紙に地図有り)

参加費: 8,000円 一泊二日3食付 申込用紙に記入の上、参加費を添えてお申込下さい。

締切: 10月8日(木)まで。※それ以降のキャンセルについては原則として返金不可。

内容: パート練習(本番前の最後のパート練習です)+全体合わせ、2日目朝は講義があります。

目標: 暗譜！！(合宿の最後に暗譜での全曲フル演奏があります♪ 合宿以降、原則暗譜)

交通: 自家用車、電車など(楽しい合宿、なるべく乗り合わせで！相乗り希望も受付中。)

注意: 防寒・乾燥対策(朝晩は冷えます。朝の散歩する方は必須。暖房完備のため乾燥対策も)

・申込書にありますが、合宿所のため、洗面具・タオル・パジャマは各自お持ちください。マイカップも！

・晩秋~初冬の軽井沢の美しい空気+紅葉の高原+浅間の白煙

・夕食と懇親会と自由時間(入浴・歓談・海外公演報告等普段は話せない人たちと交流できるチャンス)

・お一人1品程度で差し入れ、お願いします☆お水も歓迎)

◆チケット・チラシ・ポスター配布<チケットは買い取ってはいけません！>

・ポスター、チラシ、チケットが出来上がりました。チケットが12枚あるか、必ず確認してください。

・1枚でも売れたら次の木曜日に精算してください。「買取り」は絶対にしないでください。(押売も×)

・座席の「指定」が、チラシ裏面で申し込むことができます。場所は指定できません。チケット購入後でも、確保席だけ申し込めます。お申込はホームページ又はFAX、または受付の中村・小野里まで。

◆演奏会プログラムの広告を募集します(締め切りは10/20)

演奏会プログラム広告を募集しています。お店や会社等、広告を掲載していただける方がいらっしゃいましたら、ご協力をお願いいたします。サークルや有志でもOKです。

①広告枠1コマ・10000円購入で、招待券1枚進呈。何コマでもOKです。

②前売券10枚購入で、広告枠1コマを無料。

上記①、②のいずれかの方法で、お申込みください。1コマ:A4版4分の1(約17x6cm)

詳細は受付にある「広告のお願い」の案内をご覧ください。

◆海外公演(ポーランド)の記念切手シート残り4枚 80円x10枚で1200円販売中！

コンサート情報・行事情報

☆サロンコンサート「ドイツ歌曲とケーキの甘い関係」

今週です

2009年9月19日(土) 19:00開演 岩宿博物館 入場料2,000円(入館料、飲み物含む)

シューベルト、シューマン、ブラームス作曲のドイツ歌曲の代表作と、ケーキとコーヒーを楽しめます。

坂本真由美(S)、田村稔(T)、住谷伴(B)、田村聡子(P、田村先生の奥様です。) 第九のHPからリンク中。

☆第4回群馬オペラ協会公演 オペラ「カルメン」 小林薫子さん、太田さん、関口さんが合唱で出演

2009年9月27日(日) 13:30開演 ベイシア文化ホール(群馬県民会館)大ホール

◆中之条ビエンナーレに行ってきました。

【団長・テノール 渡辺義之】

秋晴れの日曜日(9/6)、吾妻郡の郡都、中之条町で行われた中之条ビエンナーレ2009に行ってきました。町全体のあらゆる場所に112名の美術家が作品を展示しています。展示場所は29箇所ですが、私たちが一日で回れたのはAゾーンとBゾーンの11会場でした。Aゾーンは高崎第九のソプラノ桑原かよさんのご実家中田木材をはじめ中心街の商店や工場などが会場ですが、歴史ある建物と現代美術が不思議に調和していました。作品を前にしての作者との会話やまちの人との語りも楽しいものでした。Bゾーンは嵩山(たけやま)や伊参(いさま)スタジオ等大自然の中の展示が勇壮でした。2年の一度のこの催しは回を追うごとに盛んになります。中之条から世界へ現代美術を発信する壮大な企画に拍手をおくります。美術をテーマにした秋の旅行としてとても楽しい一日でした。

私は期間中にもう一度、今度は四万(しま)会場へ行ってきます。ちなみに桑原かよさんは実行委員として期間中も大活躍です。(洋子先生も私も桑原さんのご実家を見学させていただきましたが、二人とも桑原さんのご実家が一番面白かったと言う感想でした。)(中之条ビエンナーレは9月23日(水)まで)

◆サイトウ・キネン・フェスティバル【ソプラノ】赤羽 洋子

9月7日松本文化会館で、以前から行きたかった小澤征爾指揮「サイトウ・キネン」を聞くことが出来ました。1984年に始まって今年は23回目のフェスティバルです。当日のプログラムはラヴェル作曲「道化師の朝の歌」「シェエラザード」ブラームス作曲「交響曲2番」。シェエラザードはアルトソロ「スーザン・グラハム」で透明なで引き込まれるような歌声に心が洗われるようでした。東洋的な「千一夜」物語から主題が取り入れられていて、アジアチックなメロディと打楽器がしなやかで甘美な語り口で歌われ、ラヴェルの時代のアジアへの憧れが伝わってきました。

ブラームスは交響曲1番をロマン派の時代に相応しい交響曲のあり方を求めて、大変な難産の末、作曲した事は有名ですが、この2番はふっきれたような伸びやかさと明るい叙情の支配する自信と活力に溢れていて、4楽章は明朗な快活さの内でのソナタ形式。一切の陰りを吹き払うようなエネルギーでベートーヴェンを彷彿させるような迫力でした。

ベルが鳴ると楽団員がステージに現れますが、なんと小澤征爾も皆と一緒に出て来て、ステージ上で楽団員と楽しそうに話していて、チューニングが始まってみんなの顔をニコニコと見つめていて、楽しい雰囲気でした。改めてお辞儀もしないまま演奏に入りました。楽団員と一つに成るとい印象でした。面白いのは譜面台が置いて有るのに楽譜は置いてないので、どんな意味が有るのか、不思議でした。私の席は2階の一番前のバルコニー貴賓席のようでオーケストラが上から全部見えて圧巻でした。総勢130名ほどのオーケストラはヴァイオリンだけで30人もいてその一人一人が世界で一流の演奏家ばかりです。力強く演奏される迫力に胸が躍りました。

私の体の中に音が響いて入り込んで来るような感じでした。ヴァイオリンのパート上からエネルギーとオーラが湧き上がっているのが乳白色の霧になって本当に見えた気持ちでした。こんな経験はしたことが無かったような気がしました。鳴り止まない拍手、楽日でしたので、楽団員全員に花束が贈られ、演奏者がその花束を客席に投げ入れて会場が一つになりました。更に帰り口で観客全員にリンドウの花束が手渡され、良い気分ホテルに戻りました。

翌日は小澤征爾一行が宿泊しているホテル・ブエナビスタでランチをしました。(残念ながらお会いできませんでしたが。) 来年はこのホテルを予約して、聞きに行きたいと思っています。



ブラボー 拍手やまず

長野県松本市で頭かれていた音楽「サイトウ・キネン」フェスティバルが7日、公式公演の幕を開いた。この日は、総勢を誇る小沢征爾さんの指揮によるオーケストラ演奏が行われ、ブラームス作曲の「交響曲2番」など三曲が披露された。演奏終了後、観客の鳴りやまない拍手の中、小沢さんら出演者は花束手に来年の再会を願い、ステージを後にした。同音楽祭は9日の同県内の中学校一年生対象に「オペラ」で全日程を終了する。

◆草津音楽祭 パーティー編(その1)

【ソプラノ 小林薫子】

草津音楽祭最終日の8月30日に、天狗山レストハウスで、さよならパーティーが行われ、初めて参加してきました。今回、私は、料理のお手伝いをしましたが、14時半頃から始め、終わったのが17時過ぎくらいでした。私は、料理が苦手なので、皆さんに迷惑をかけてしまうのではないかと不安でしたが、じゃがいもやごぼうなどを洗ったり、こんにゃくをちぎったり、アルミホイルを切るなどの作業をしました。思っていたよりうまくできたので、よかったです。

パーティーは、18時半頃から21時頃まででしたが、いろいろなクラスの受講生の方やアシスタント、スタッフ、友の会の方々、海外から来日した先生方、その他大勢の方が集まりました。音楽祭の思い出話などをしたり、一緒に写真を撮ったり、私たちが作った料理を皆さんに喜んでいただけたりと、とても嬉しかったです。